


実施日：7月12日（5校時）	
領 域：道徳	
取組名：あいさつってだいじだね（資料「たびにでて」（文部科学省副読本「わたしたちの道徳」）	
対 象：2年生	実施場所：2年1組教室
ア ねらい あいさつをすることで、元気が出たり、人と人とのコミュニケーションがスムーズになったりすることに気づき、すすんであいさつしようとする意欲を育てる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ol style="list-style-type: none"> <li>資料に興味をもつ。</li> <li>資料を読んで、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつを面倒に思うけいたの気持ち</li> <li>「あいさつのないしま」に行った時のけいたの気持ち</li> <li>次の日も次の日もあいさつを続けるけいたの気持ち</li> <li>「あいさつのないしま」の変化をとらえる</li> </ul> </li> <li>自分の生活を振り返る。</li> <li>学習の感想を書く。</li> </ol>	
	
ウ 連携先：神戸市小学校研究部 道徳部	
エ 連携にむけての取組 より充実した学習内容となるように、授業前には必ず道徳部と指導案の検討を行った。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>推進教員と担任との打合せ、および道徳部との打合せを綿密に行った。</li> <li>学習後の感想を研修で交流し、子供たちの学びの深さについて協議を行った。</li> </ul>	
カ 評価の方法 感想（まとめたものを学級通信として発行）【別紙1】	
キ 成果 取組後、あいさつの意義を理解し、自分からあいさつをする子が増えた。	
ク 課題 1つの学年だけでなく、全校的な取組として成果が上がるように計画したい。	

